



福島県内経済情勢報告

令和7年1月

財務省東北財務局
福島財務事務所


目 次	ページ
1. 総 論	1
2. 個人消費	2
3. 生産活動	4
4. 雇用情勢	5
5. 設備投資	6
6. 企業収益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住宅建設	8
9. その他項目	9

*各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

*掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

1. 総論

【総括判断】 「横ばいの状況にある」









項目	前回(6年10月判断)	今回(7年1月判断)	前回比較
総括判断	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	横ばいの状況にある	

(注)7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回るなど、足踏みの状況にある。生産活動は、汎用・生産用・業務用機械で新製品の受注が好調となるなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回(6年10月判断)	今回(7年1月判断)	前回比較
個人消費	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	
設備投資	6年度は増加見込み	6年度は増加見込み	
企業収益	6年度は増益見込み	6年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅が縮小	「下降」超幅が縮小	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

2. 個人消費 … 足踏みの状況にある



- (1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品等で節約志向の影響がみられているほか、衣料品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、デザート等が堅調となっているものの、酒類等が低調となっていることから、前年並みとなっている。
- (3) ドラッグストア販売額は、日用品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、インテリア用品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、パソコン等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、一部自動車メーカーの認証不正問題の影響等により、前年を下回っている。
- (7) 旅行は、国内旅行が好調となっているほか、海外旅行に動きがみられることなどから、持ち直している。

～ 〈参考〉 個人消費に関する地域の声 ～

○高価格なコートなどの衣料品は買い控えがみられており、低調となっている。

○商品の値上げにより買上点数が減少するなど消費者の節約志向が続いている一方で、ハレの日等には豪華な食事を楽しむなどメリハリをつけた消費行動もみられている。

(百貨店・スーパー)

○デザートは、販売促進の強化等により堅調となっているほか、クリスマスケーキは想定を上回る売上げとなった。

○酒類等は、より安価な販売店で購入している様子が見られ、低調となっている。

(コンビニエンスストア)

○紙製品等の日用品は、値上げを行っているものの、競合店よりも安く販売していることから、好調となっている。

○食料品の値上げ幅を抑えていることや販売促進の強化により来店客数が増加している一方で、物価高による節約志向から買上点数は減少している。

(ドラッグストア)

○インテリア用品等は、生活必需品ではないことから物価高による買い控えがみられ、低調となっている。

○農業資材等は値上げを行っても買い控えがみられない一方で、日用品等はより安価な販売店で購入している様子が見られる。

(ホームセンター)

○パソコンは、巣ごもり需要の反動等により、引き続き低調となっている。

○新型のスマートフォンが発売されたが、以前ほどの需要の高まりはなく、販売価格の高騰による買い控えがみられる。

(家電)

○軽自動車を中心に、認証不正問題の影響による販売台数の減少が続いている。

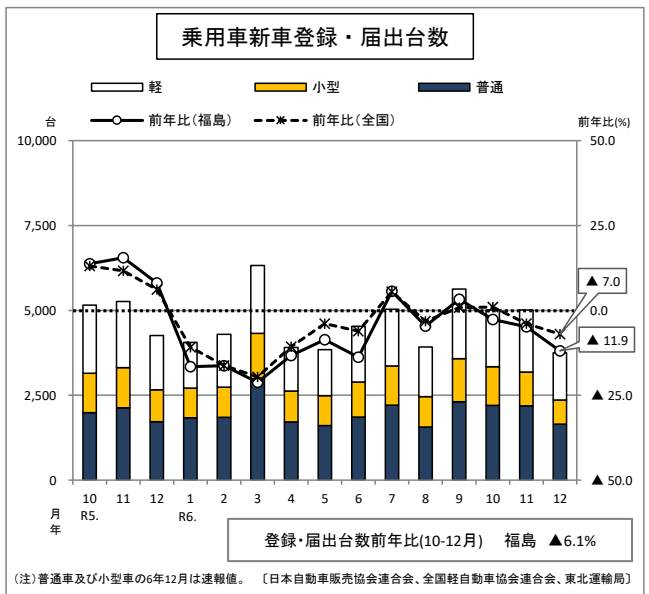
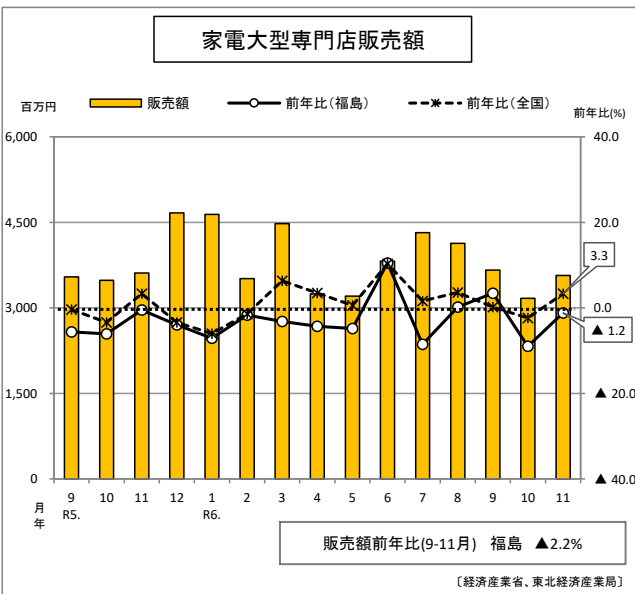
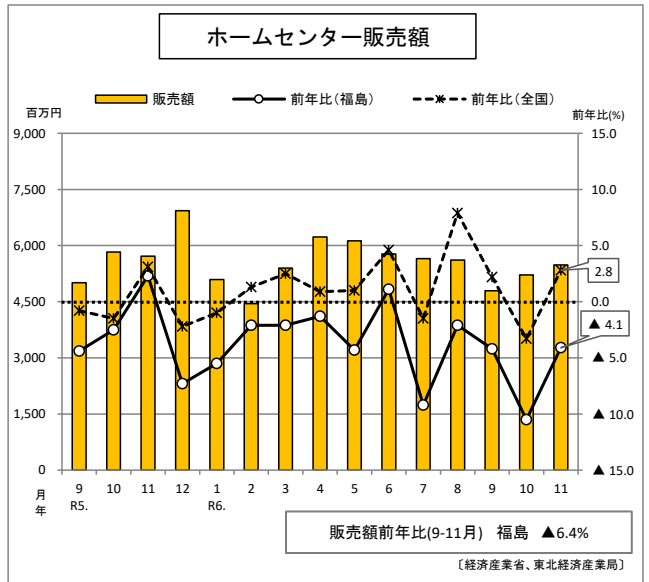
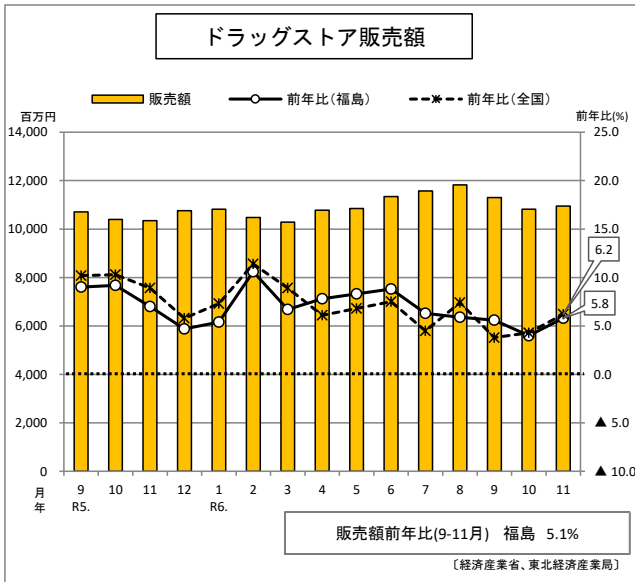
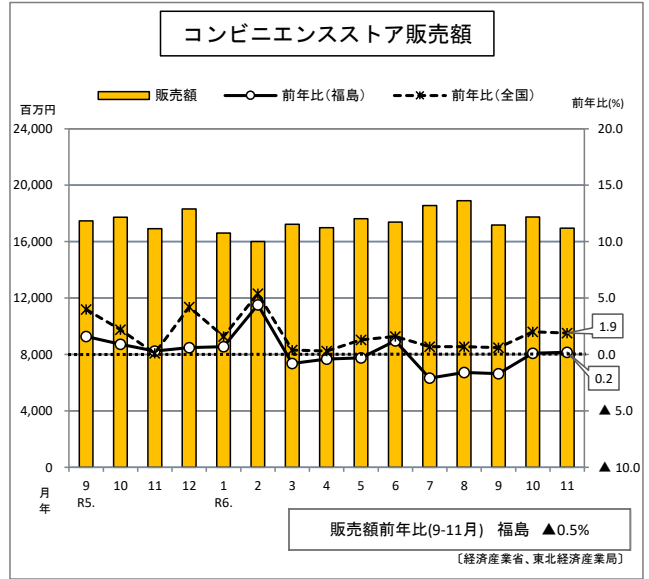
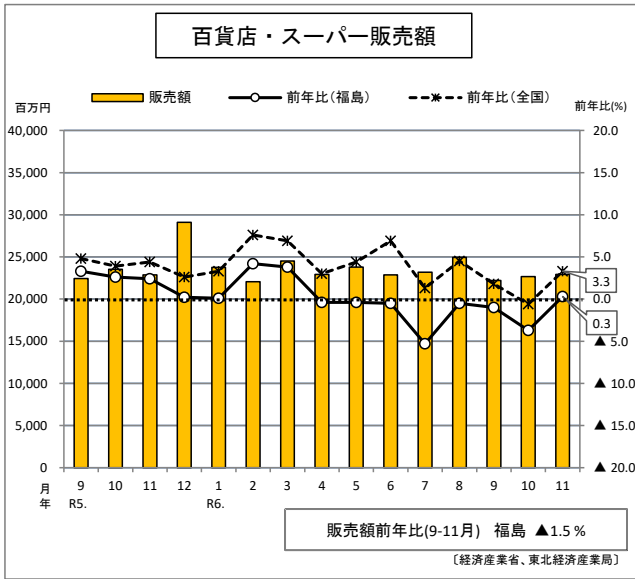
○自動車の販売価格は高騰しているものの、生活必需品であることから、底堅い需要がある。

(自動車販売)

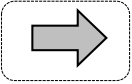
○国内旅行では旅行意欲の高い状況が続いているほか、アジアを中心に海外旅行にも動きがみられる。

○宿泊代金の値上がりが続いているものの、旅行控えはみられず、九州など遠方への旅行も増加している。

(旅行)



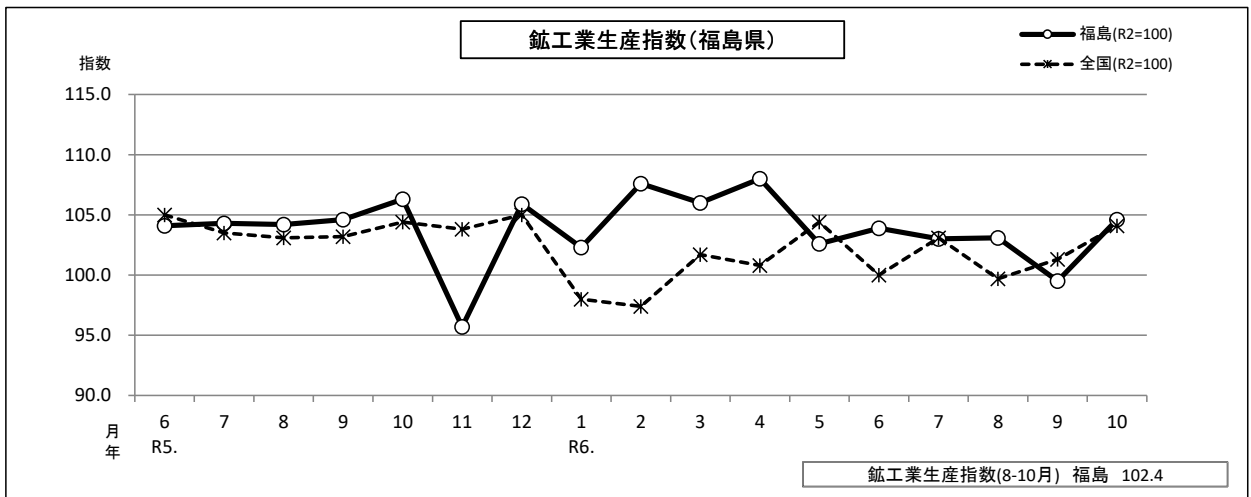
3. 生産活動 … 緩やかに持ち直しつつある



- (1) 化学は、自動車向けの受注回復により、足下で増加している。
- (2) 汎用・生産用・業務用機械は、海外経済減速の影響がみられるものの、新製品の受注が好調となっていることから、持ち直しつつある。
- (3) 電子部品・デバイスは、AI(人工知能)向けが堅調となっていることから、緩やかに持ち直している。
- (4) 輸送機械は、海外経済減速等の影響がみられるものの、緩やかに回復している。

～ 〈参考〉 生産活動に関する地域の声 ～

- 一部自動車メーカーの生産再開に伴い、受注が回復している。
○半導体向けは、引き続き受注が堅調となっており、フル生産が続いている。 (化学)
- 新製品を中心に生産が増加しており、今後も堅調に推移する見通しとなっている。
○中国における設備投資需要の落ち込みにより、生産用機械向けの受注が低調となっている。 (汎用・生産用・業務用機械)
- AI(人工知能)向けは、前期の好調さと比べると落ち着きがみられるものの、今後の需要拡大を期待している。 (電子部品・デバイス)
- 北米向けを中心に、新型車向けの受注が好調となっている。
○海外経済減速等の影響により、取引先の在庫調整が長期化しており、受注回復の兆しが見えない。 (輸送機械)

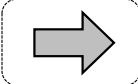


鉱工業生産指数(福島県、季節調整済、R2=100)

区分	総合 (Wt=10,000)		化学	汎用・生産用・ 業務用機械	電子部品 ・デバイス	輸送機械
	指数	前年比%				
5年	103.8	▲ 0.3	1,214.3	1,152.5	1,117.1	1,032.7
5. 10-12	102.6	-	112.9	102.3	102.4	134.9
6. 1-3	105.3	-	112.8	100.0	99.5	146.3
4-6	104.8	-	145.7	85.6	94.9	138.5
7-9	101.9	-	142.8	93.2	103.7	176.7
6. 5	102.6	▲ 0.4	117.6	93.1	105.9	179.7
6	103.9	▲ 3.4	127.5	96.0	104.1	172.4
7	103.0	▲ 2.1	130.3	93.4	105.4	185.6
8	103.1	▲ 2.7	109.8	97.1	105.0	194.5
9	99.5	▲ 6.0	126.0	90.0	105.8	174.2
10	104.6	▲ 0.1	116.9	92.1	107.0	170.3
6. 5-7	103.2	-	121.2	95.0	105.4	180.2
6. 8-10	102.4	-	122.5	95.5	104.8	184.2

(注) 1. 前年比は原指数。 [福島県]
 2. 最終月は速報値。
 3. 5年分は年間補正後。
 4. 6. 5-7、6. 8-10は今回の分析上参考とした期間。

4. 雇用情勢 … 一部に弱さが見られるものの、緩やかに持ち直している



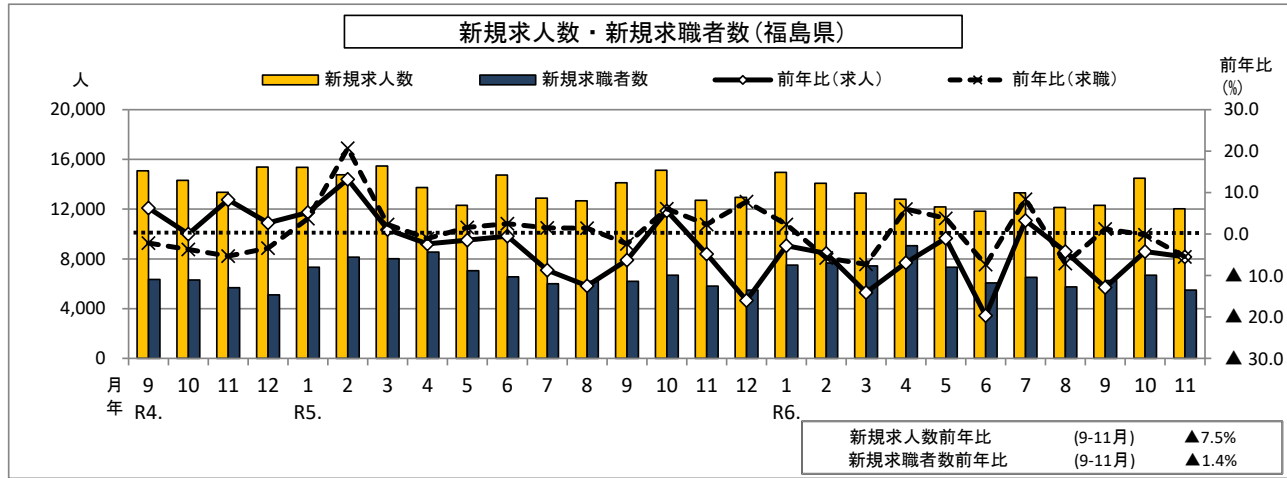
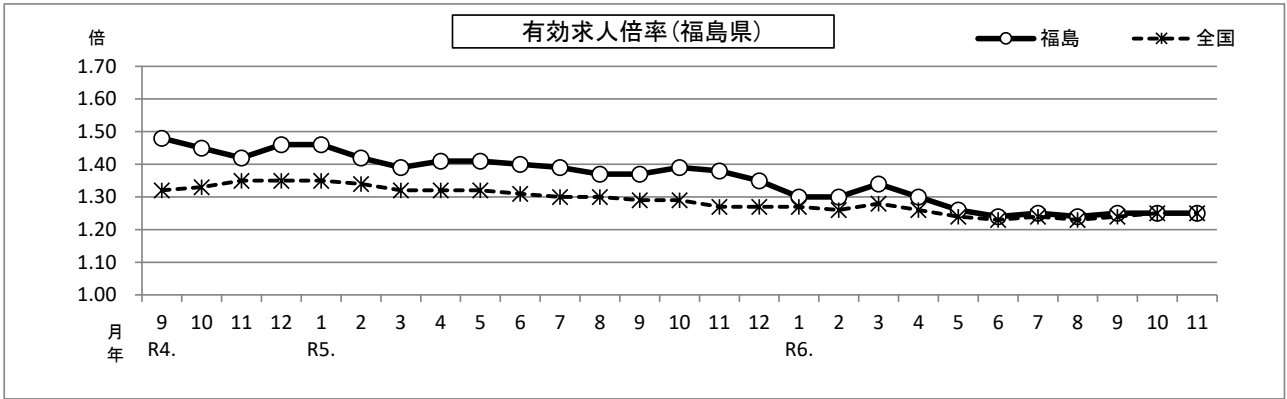
- (1) 有効求人倍率は、横ばいとなっている。
- (2) 新規求人数は、サービス業等で減少していることから、前年を下回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を下回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を下回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

～ 〈参考〉 ～

○求人と求職のミスマッチは依然としてあるものの、新規出店などにより、引き続き求人数は底堅く推移している。 (公的機関)

○生産減少により厳しい状況にはあるものの、人材流出を防ぐため既存社員への賃上げを実施している。 (製造業)

○人手不足ではあるが、収益悪化のため競合他社よりも低い賃金でしか求人を出せず、応募が少ない。 (非製造業)

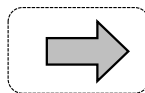


雇用状況(福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済) 倍	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
		人	前年比 %	人	前年比 %	人	前年比 %	人	前年比 %
5 年	1.39	13,907	▲ 2.5	6,838	3.7	5,543	7.3	6,031	▲ 3.0
5. 10-12	1.37	13,593	▲ 5.3	6,003	5.3	1,376	38.6	6,083	2.7
6. 1-3	1.32	14,108	▲ 7.2	7,531	▲ 3.8	1,390	23.3	5,627	2.6
6. 4-6	1.27	12,271	▲ 9.8	7,487	1.3	2,134	5.3	6,264	5.9
6. 7-9	1.25	12,585	▲ 4.9	6,177	0.8	1,359	34.0	6,960	4.8
6. 6	1.24	11,831	▲ 19.7	6,077	▲ 7.4	329	▲ 27.7	6,535	2.8
6. 7	1.25	13,315	3.3	6,515	8.4	475	51.8	7,275	9.9
6. 8	1.24	12,130	▲ 4.2	5,752	▲ 7.1	464	34.5	6,878	▲ 0.0
6. 9	1.25	12,311	▲ 12.9	6,265	1.2	420	18.0	6,728	4.7
6. 10	1.25	14,480	▲ 4.2	6,683	▲ 0.2	527	▲ 5.6	6,606	2.6
6. 11	1.25	12,026	▲ 5.5	5,495	▲ 5.5	378	▲ 11.5	5,990	▲ 2.4
6. 9-11	-	12,939	▲ 7.5	6,148	▲ 1.4	1,325	▲ 1.2	6,441	1.7

(注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。 [厚生労働省、福島労働局]
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。
 3. 5年12月以前の有効求人倍率は改定値。
 4. 6. 9-11は今回の分析上参考とした期間。

5. 設備投資 … 6年度は増加見込み



法人企業景気予測調査（6年10-12月期調査）でみると、6年度は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

設備投資

(前年度比増減率:%)

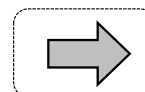
区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	6 年 度	(10.3)	23.1	(42.3)	43.3	(31.3)

(注) 1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

2. ()書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年10-12月期調査)」]

6. 企業収益 … 6年度は増益見込み



法人企業景気予測調査（6年10-12月期調査）でみると、6年度は、製造業、非製造業とも増益見込みとなっている。

経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	6 年 度	(96.2)	105.2	(▲ 0.1)	1.3	(32.6)

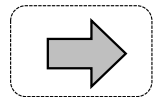
(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。

2. ()書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年10-12月期調査)」]

7. 企業の景況感 … 現状は「下降」超幅が縮小

先行きは7年1～3月期に「下降」超幅が縮小し、
7年4～6月期に「上昇」超に転じる見通し



法人企業景気予測調査(6年10-12月期調査)の企業の景況判断BSIで見ると、現状(10～12月)は、全産業では「下降」超幅が縮小している。

先行きは、全産業では7年1～3月期に「下降」超幅が縮小し、7年4～6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

企業の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

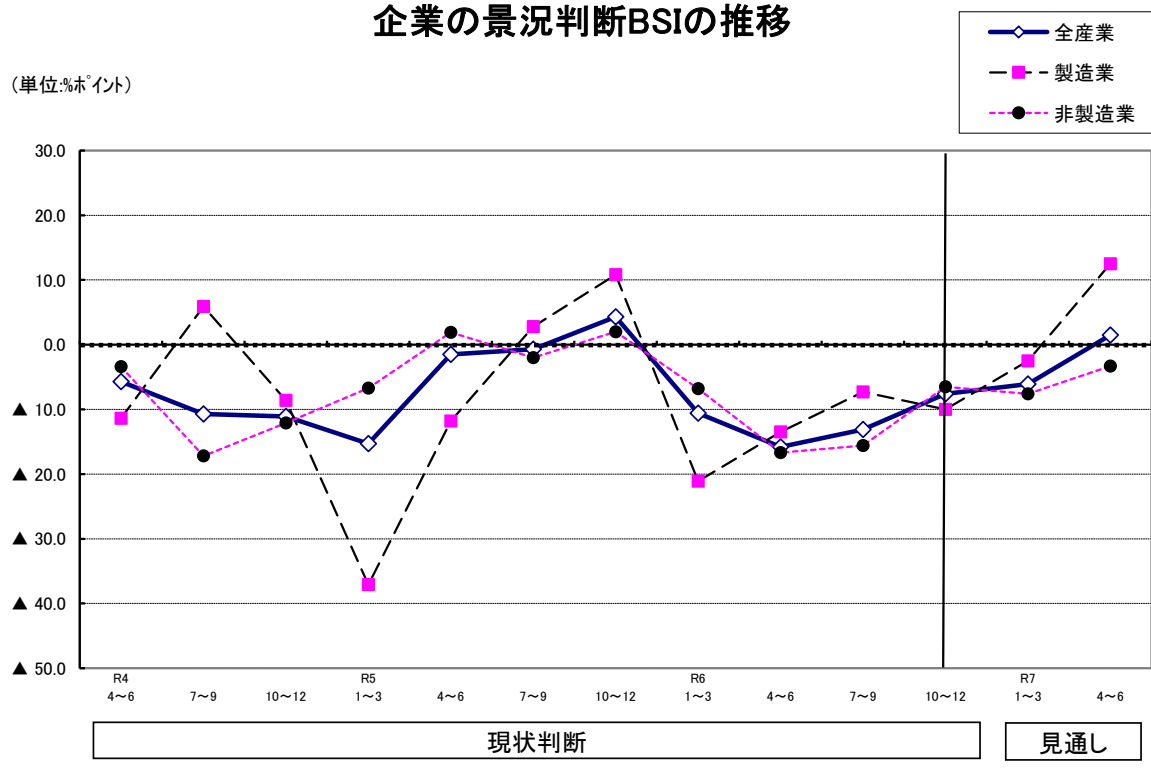
区分	6年7～9月 (6年7-9月期調査)	6年10～12月 現 状 判 断		7年1～3月 見 通 し		7年4～6月 見 通 し
全 産 業	(▲ 13.1)	(▲ 0.7)	▲ 7.6	(▲ 0.7)	▲ 6.1	1.5
製 造 業	(▲ 7.3)	(14.6)	▲ 10.0	(7.3)	▲ 2.5	12.5
非 製 造 業	(▲ 15.6)	(▲ 7.3)	▲ 6.5	(▲ 4.2)	▲ 7.6	▲ 3.3

(注) ()書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年10-12月期調査)」〕

企業の景況判断BSIの推移

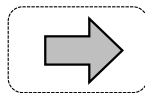
(単位:%ポイント)



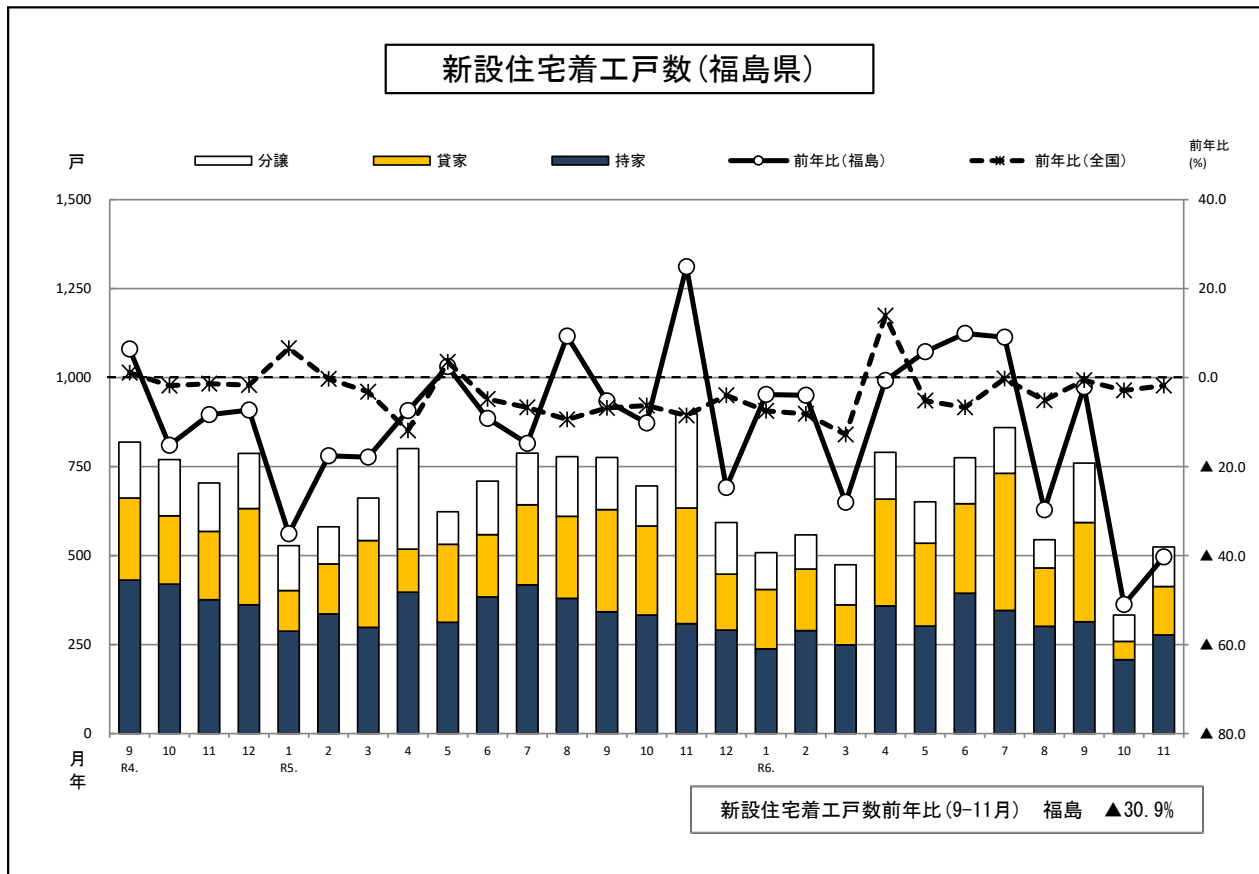
BSI (Business Survey Index) の計算法

$$*BSI = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比})$$

8. 住宅建設 … 前年を下回っている



新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲いずれも前年を下回っている。



新設住宅着工戸数(福島県)

区 分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%			
5 年	8,444	▲ 9.5	▲ 11.3	3.0	▲ 12.9
5. 10-12	2,189	▲ 4.2	▲ 19.4	11.9	16.3
6. 1-3	1,547	▲ 12.9	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 11.1
4-6	2,236	4.7	▲ 3.6	52.4	▲ 28.2
7-9	2,169	▲ 7.5	▲ 15.7	11.6	▲ 18.3
6. 6	779	9.9	2.6	44.0	▲ 14.0
7	861	9.1	▲ 17.2	71.1	▲ 11.0
8	547	▲ 29.7	▲ 20.8	▲ 28.7	▲ 52.4
9	761	▲ 2.1	▲ 8.2	▲ 2.8	13.6
10	341	▲ 51.0	▲ 37.5	▲ 79.6	▲ 34.5
11	536	▲ 40.3	▲ 10.4	▲ 58.2	▲ 58.0
6. 9-11	1,638	▲ 30.9	▲ 18.8	▲ 45.9	▲ 32.8

(注) 6. 9-11は今回の分析上参考とした期間。

〔国土交通省〕

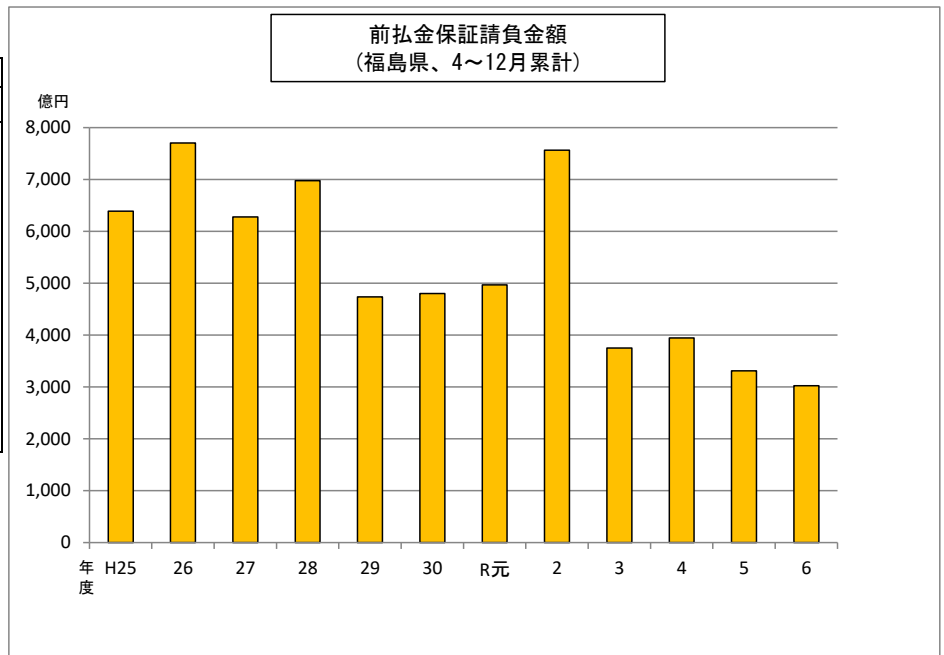
9. その他項目

(1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額(累計)で見ると、前年度を下回っている

区 分	前払金保証請負金額	
	億 円	前年 同 期 比 %
25 年度	6,388	58.2
26 年度	7,703	20.6
27 年度	6,277	▲ 18.5
28 年度	6,975	11.1
29 年度	4,735	▲ 32.1
30 年度	4,800	1.4
元 年度	4,970	3.5
2 年度	7,564	52.2
3 年度	3,749	▲ 50.4
4 年度	3,944	5.2
5 年度	3,311	▲ 16.0
6 年度	3,026	▲ 8.6

(注) 国、独立行政法人等、県、市町村等の合計。
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

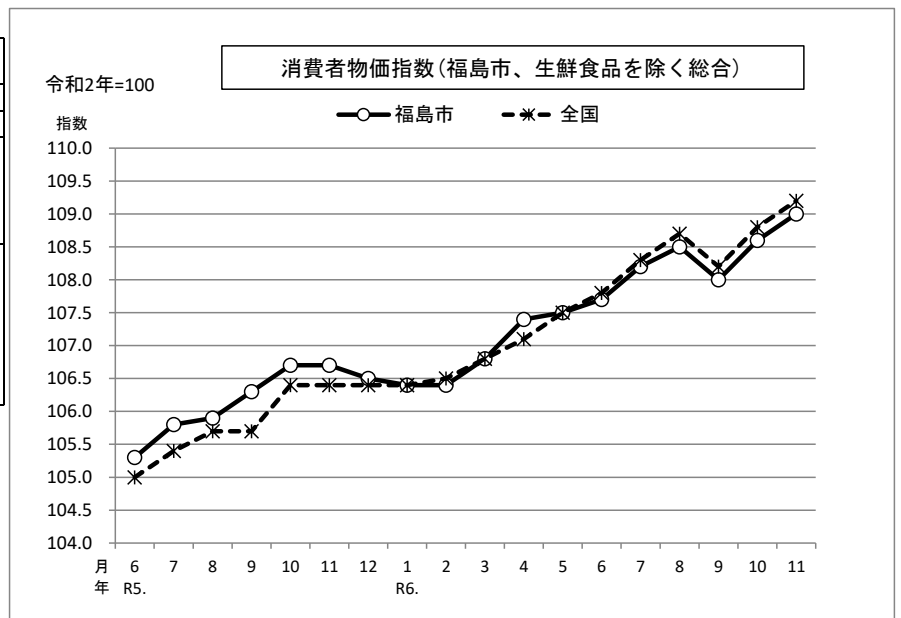


(2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

区 分	福 島 市 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合		
	指 数	前 年 比 %	
5 年	105.3	3.1	
5. 10-12	106.6	2.7	
6. 1-3	106.5	2.7	
	4-6	107.5	2.8
	7-9	108.2	2.1
6. 6	107.7	2.3	
	7	108.2	2.2
	8	108.5	2.4
	9	108.0	1.6
	10	108.6	1.7
11	109.0	2.1	

〔総務省〕



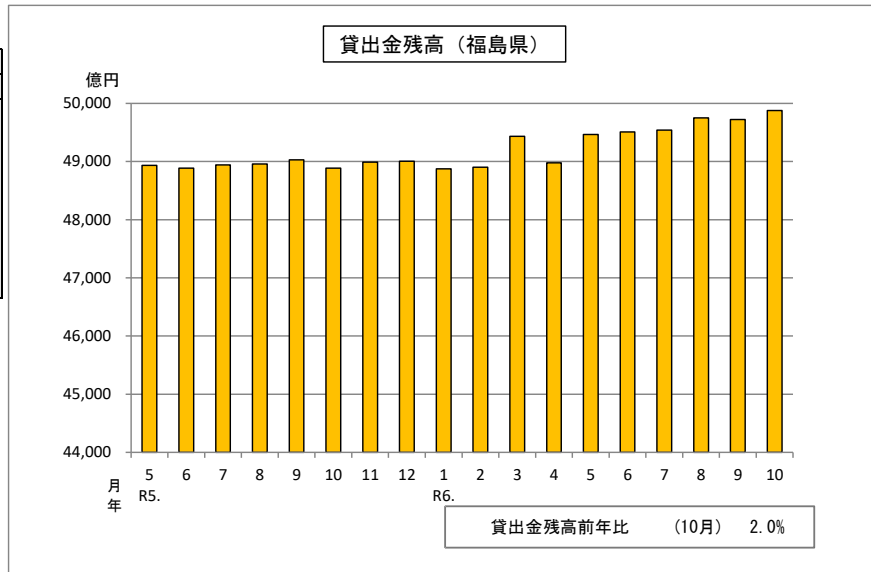
(3) 金融状況

県内民間金融機関の貸出金残高でみると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区 分	貸 出 金	
	件 数	月末残高(億円)
6.	3	49,435
	4	48,978
	5	49,466
	6	49,510
	7	49,539
	8	49,752
	9	49,725
	10	49,876

(注)13銀行(県内店舗分)、8信金(全店分)ベース
 なお、銀行については、オフショア勘定及び
 中央政府向け貸出を除く。
 [日本銀行福島支店]



(4) 企業倒産

件数は前年を上回っており、負債総額は前年を下回っている

企業倒産件数・負債総額(福島県)

区 分	件 数		負 債 総 額		
	件 数	前年比%	百万円	前年比%	
6 年	122	52.5	17,048	26.0	
6. 1-3	30	66.7	4,714	23.4	
	4-6	28	27.3	5,080	23.4
	7-9	35	150.0	3,993	198.0
	10-12	29	11.5	3,261	▲ 23.2
6. 7	13	85.7	989	139.5	
	8	10	100.0	1,388	97.2
	9	12	500.0	1,616	624.7
	10	12	100.0	1,496	66.6
	11	12	100.0	1,506	105.5
	12	5	▲ 64.3	259	▲ 90.1

[(株)東京商工リサーチ]

